

高齢で農地の取り扱いに困り始めている人達への支援について

報告者：手をつなごう実行委員会

両河内地域包括支援センター 渡邊 雅彦

農地の手入れに
手が回らない

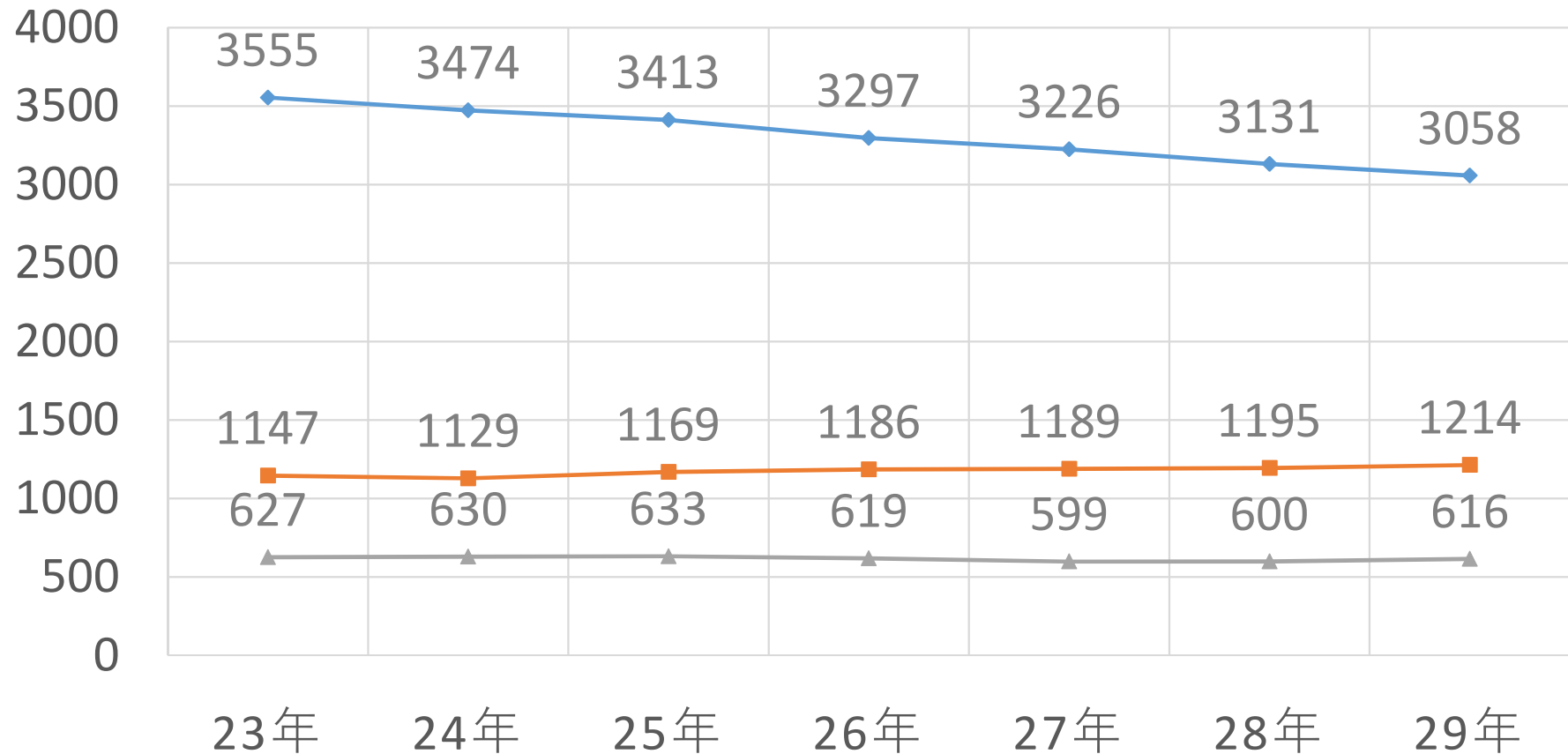
農地を誰かに
貸したい



両河内地区の現状

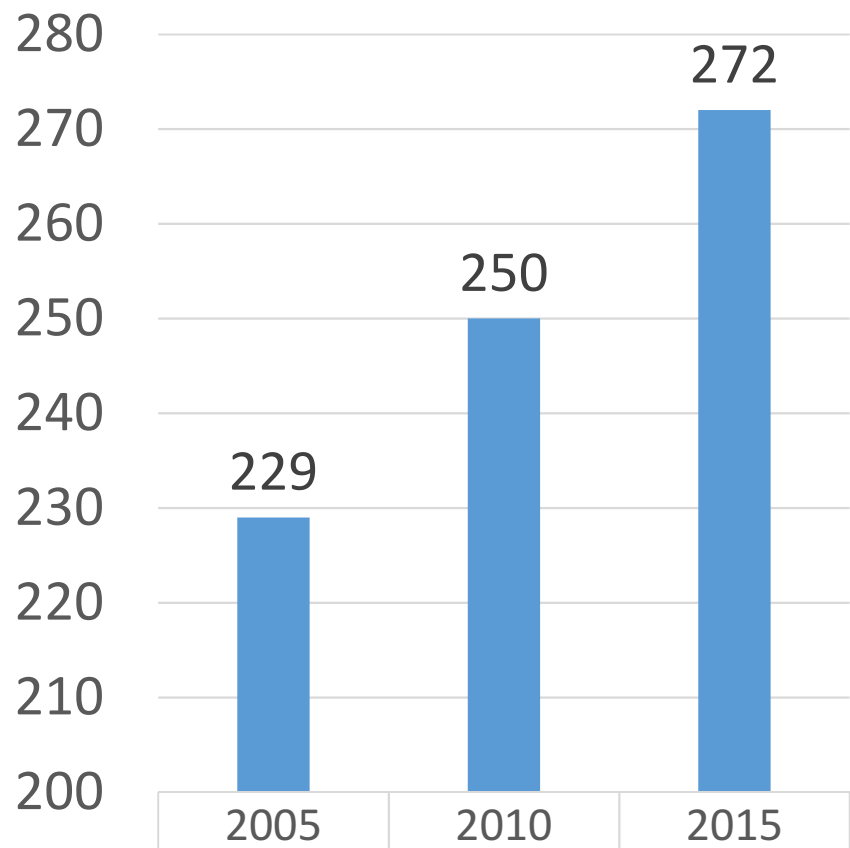
人口動態(各年3月末)

◆人口(人) ■高年齢者人口(人) ▲後期高齢者人口(人)



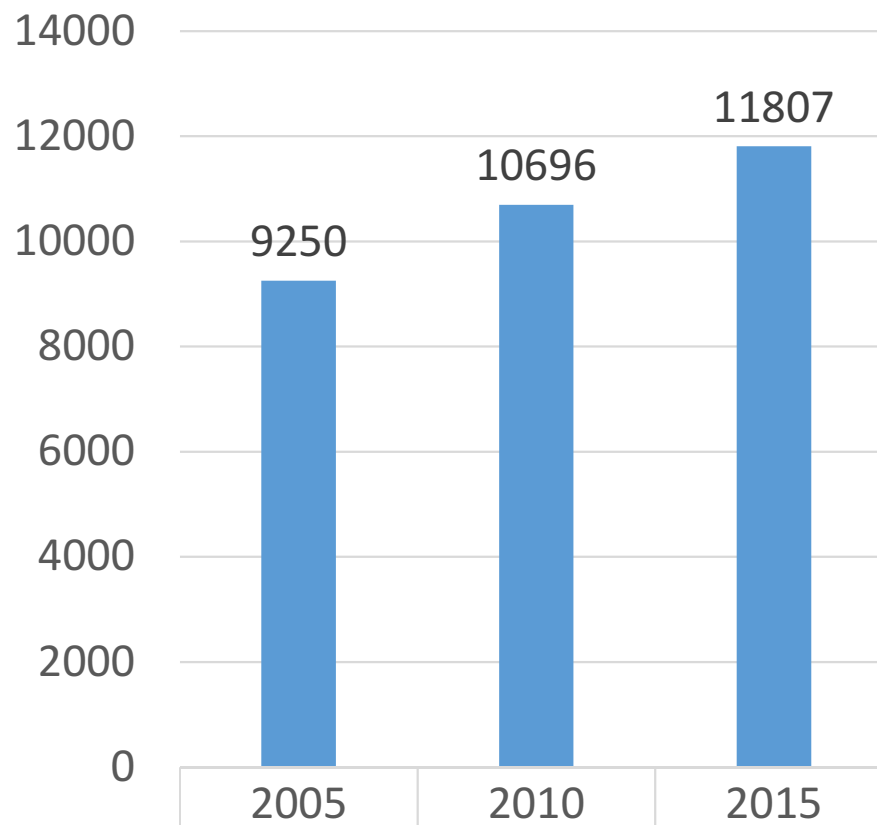
両河内地区の耕作放棄地についての調査結果

耕作放棄地所有者数



■ 所有者数	229	250	272
--------	-----	-----	-----

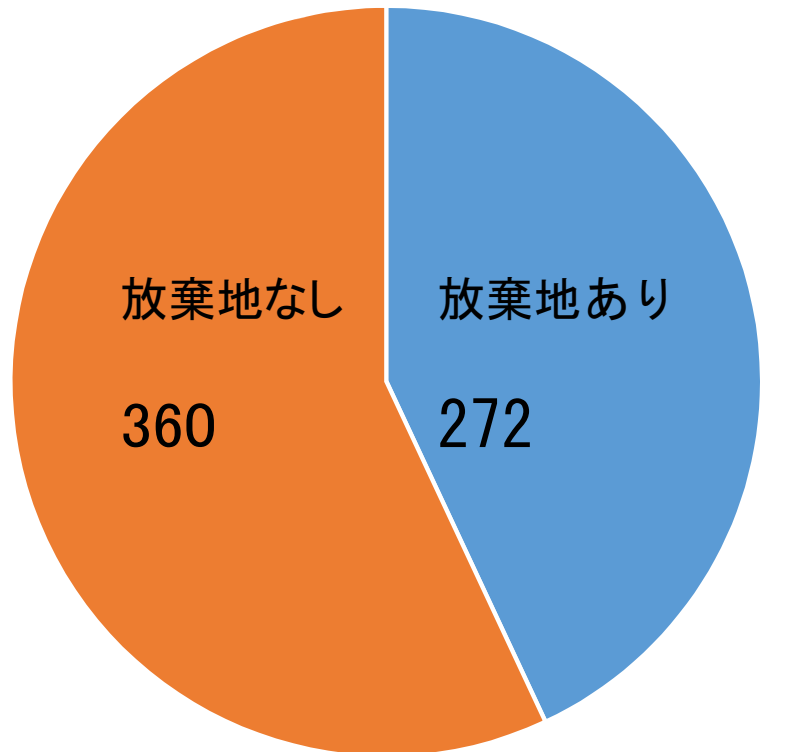
耕作放棄地面積



■ 面積	9250	10696	11807
------	------	-------	-------

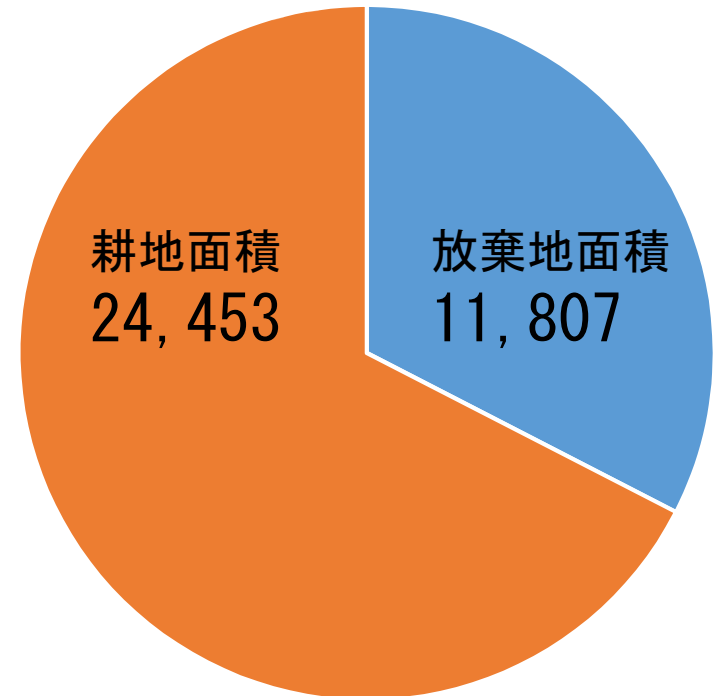
耕作放棄地の占める割合

2015農地所有者総数（戸）



■ 放棄地あり ■ 放棄地なし360

2015農地面積（a）



■ 放棄地面積 ■ 耕地面積

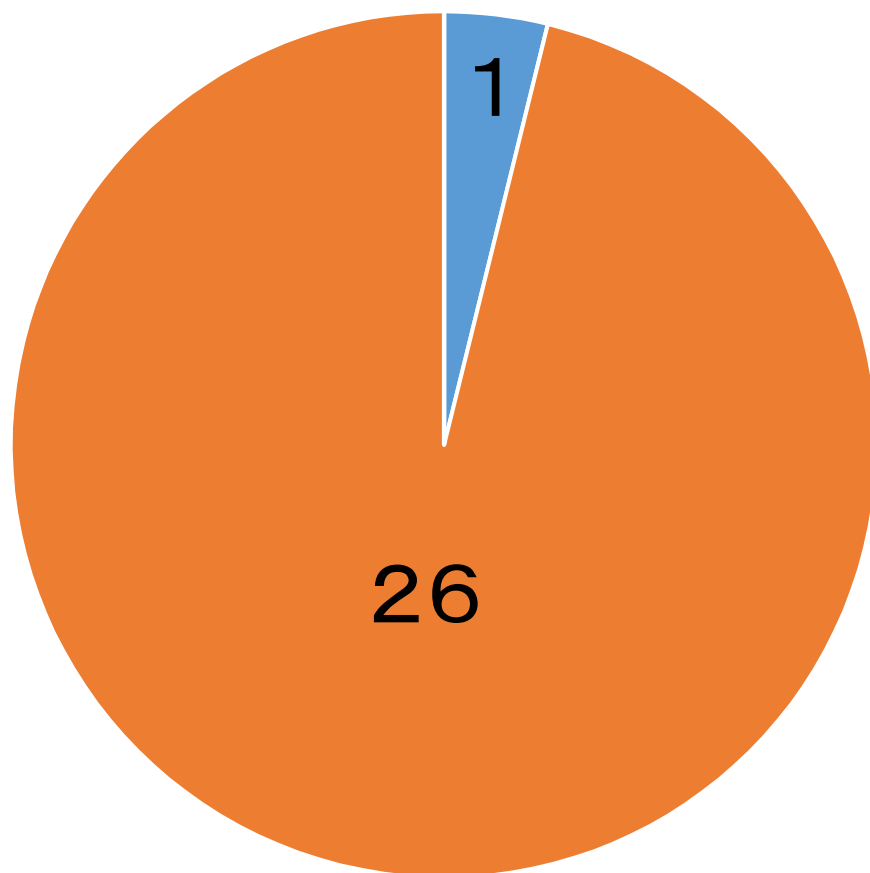
両河内地区の耕作放棄地



両河内地区で見つけた耕作放棄地の所有者を探して
ヒアリングをしました。
合計27名の方からお話を伺いました。

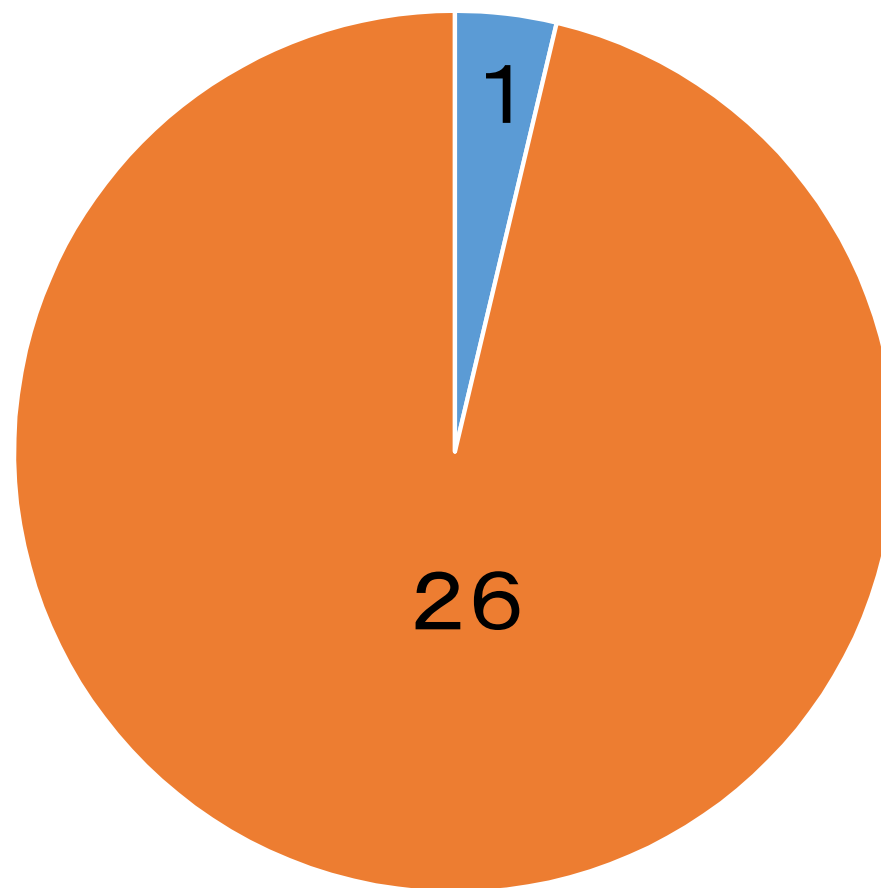
ヒアリング結果①

農業の形態(人)



■ 専業:1
■ 兼業:26

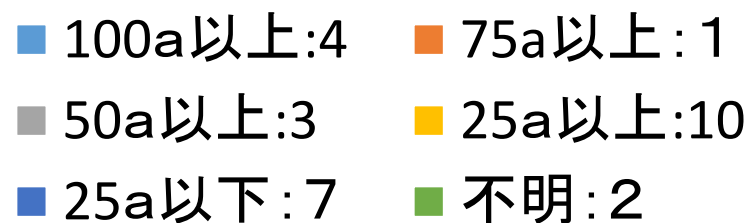
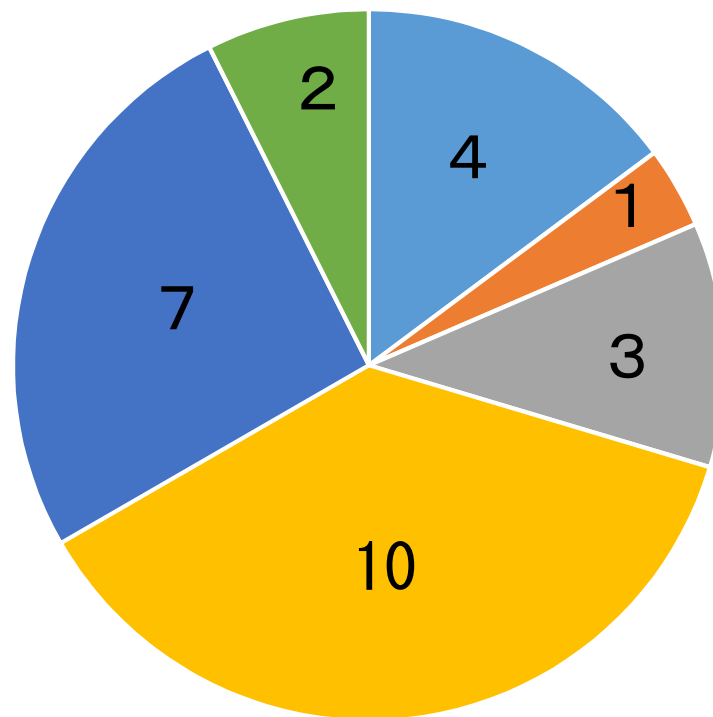
後継者(人)



■ いる:1
■ いない:26

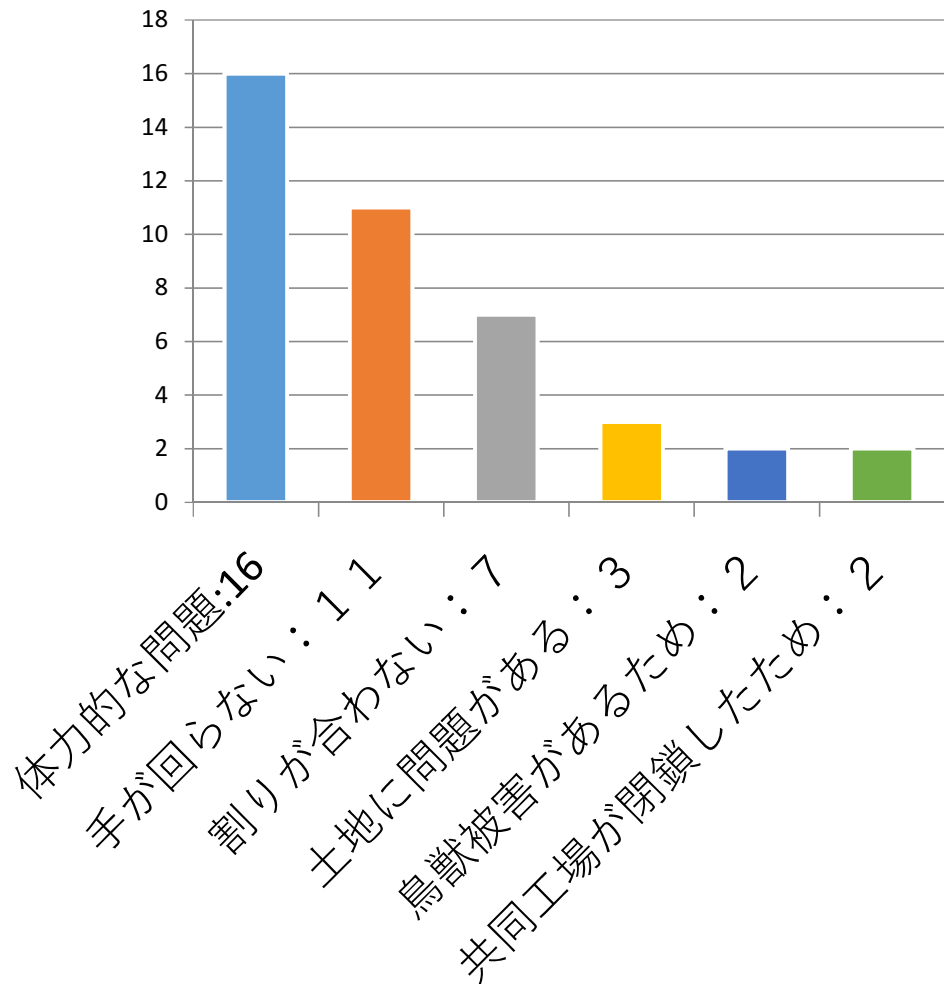
ヒアリング結果②

所有する土地(a)

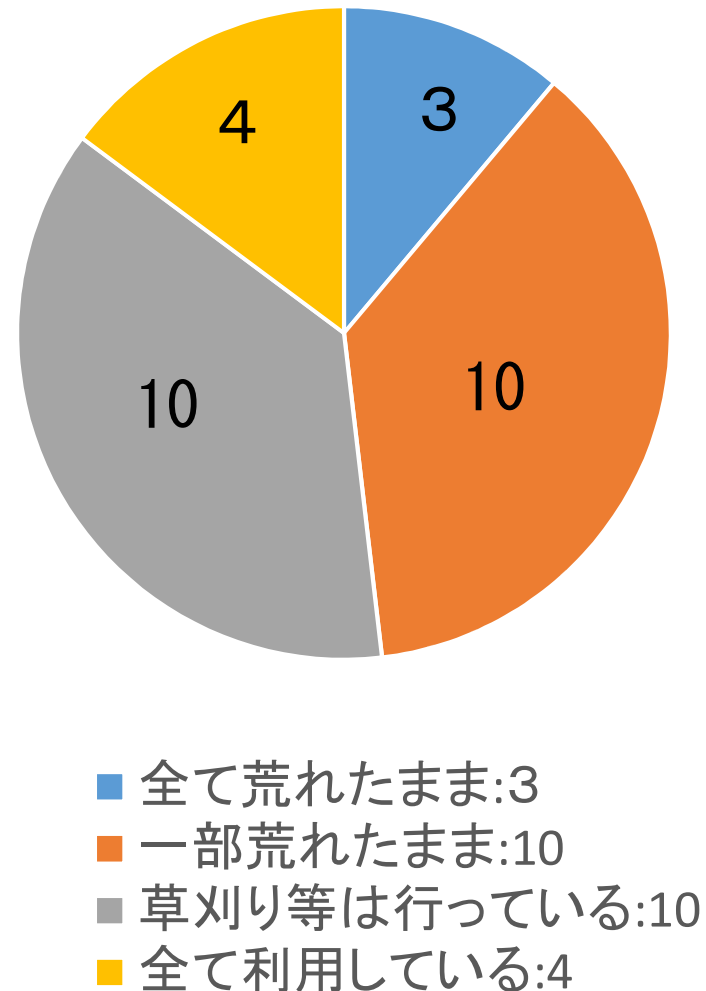


ヒアリング結果③

困っている原因

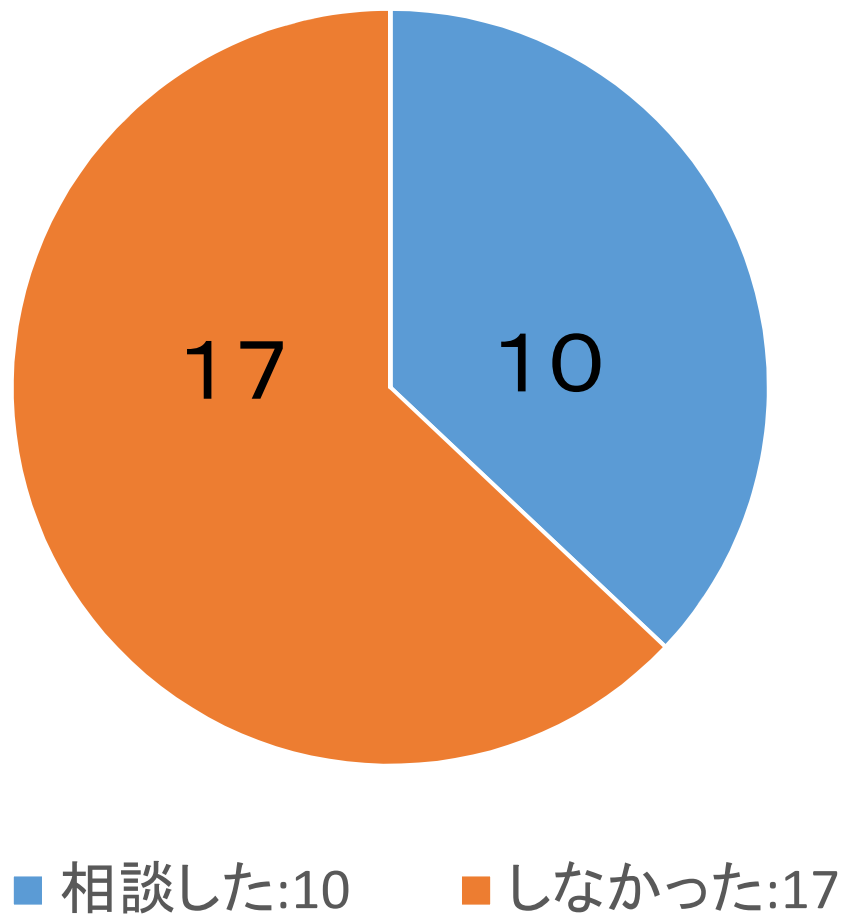


今までどうしていたか?

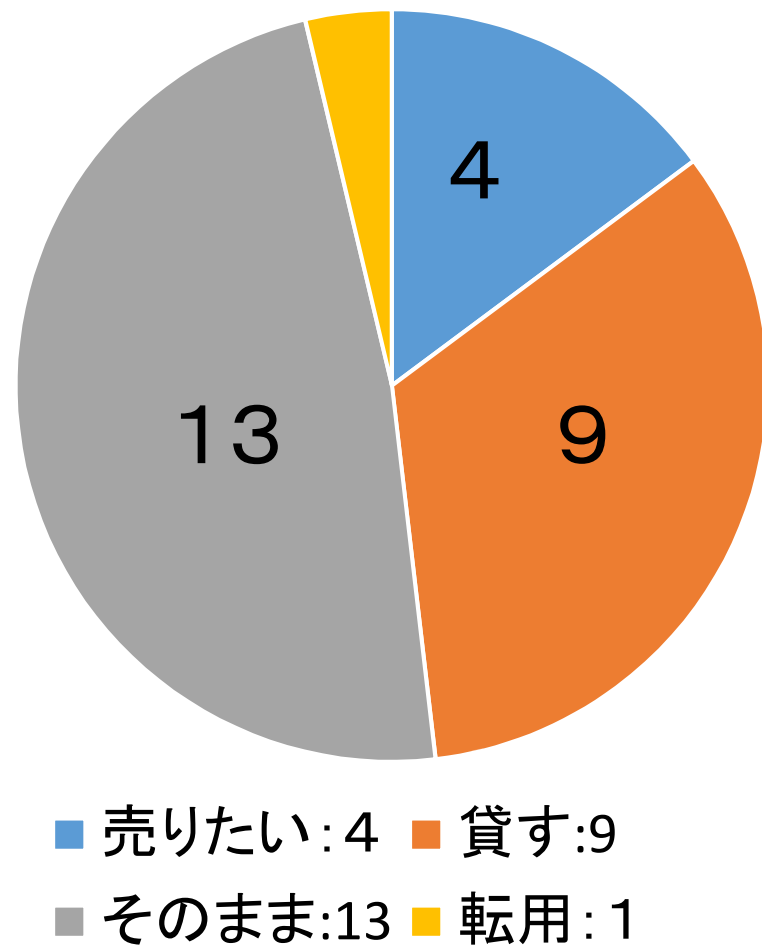


ヒアリング結果④

誰かに相談したか(人)



今後どうしたいか(人)



このまま行くと

このまま何も対策を取らないでいると、



**耕作放棄地は、
ますます増加していく!**

困りごとを整理

高齢者が自分だけでは管理しきれない農地が増えている。

雑草や害虫が増えたり、野生動物の棲かになる。

周りが休耕地だと、水が来ないので水田が出来ない。

ゴミが不法投棄されている

新規参入の阻害

景観、治安の悪化



両河内の新たな取り組み

休耕地を利用し、在来種である蕎麦や大豆、麦を栽培して、新たな商売をしようとする活動が始まっています。

団体名	地域	取組	今後の需要
ここ豆会	湯沢、樽、小川地区	大豆(ここ豆)、蕎麦の栽培。	今後 <u>30ha</u> の畑が必要。
小川地域振興会	小川地区	榊の栽培	苗木を <u>6600本</u> 準備している。
複合力	西里地区	酒米、ビール用大麦の栽培	栽培量の倍増を目標
ミヤハラフーズ	小川、茂野島地区	大根の栽培	地元の生産量も増やしたい

農地の需要はある！



ここ豆会のここ豆の畑



小川地域振興会の榊畑



ミヤハラフーズの大根畑



複合力 酒米の水田



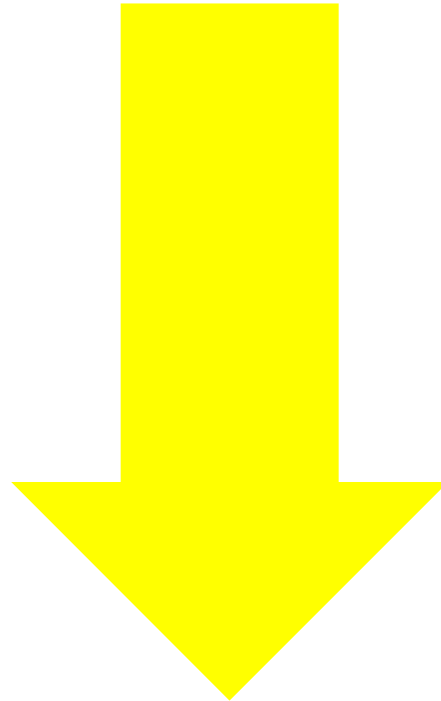
複合力 ビール用ホップの棚



複合力 放置竹林の整備

課題解決に向けた提案

まだまだ働ける元気な高齢者にもうひと頑張りしていただく



健康寿命が延び、耕作放棄地が減る!

そのために僕はこうする!

①. 相談窓口として活動します。

- ・高齢者から休耕地に関する相談を受けたら、地域で取り組まれている活動を紹介する。



②. 広報活動を行います。

- ・S型デイサービス等へサポートに行った際、現在地域で取り組まれている活動についてお話しする。



③. 協力して頂ける方を探します。

- ・定年退職された方やまだまだ働ける元気な高齢者に声を掛け、協力して頂ける方を探します。



12月10日(月)地域報告会

日時:平成30年12月10日(月)19:30~20:00

(自治会定例会冒頭で発表)

会場:両河内生涯学習交流館(清水区和田島171-1)

参加者:両河内連合自治会役員 20名

いただいたご意見

- ・既存の団体の事業に参加しやすいよう、組織化すればよいのではないか。
- ・例えば、和田島地区なら〇〇人の高齢者が手伝えますよ、というように具体性が欲しい。
- ・私たち自治会に一番協力してほしいことはなにか。例えば放棄されている土地を紹介するなど。
- ・体が動かない高齢者は、畑を耕すだけでなく、持っている土地を貸すこと自体も難しい。非常に根が深い問題。

等

